



五嶋 映司 議員

指定管理者制度について

問 来年の9月までに指定管理者制度を導入しなければならぬ。究極の自治体リストラと表現する人もいるこの制

度はどんな制度か。
市長 公の施設を自治体の指定を受けた、民間を含め法人や法人格を持たない一定の団体を議会の議決を経て、管理委託者を指定することである。
問 公の施設とは、福祉を目的とするためにつくった施設である。これを株式会社などの利益を追求する団体に任せるといふことだが、施設はどこどこか。
総務企画部長 不知火が温泉センター、老人福祉センター、温水プール。小川が総合健康

福祉センター、農産物処理加工センター。松橋の老人福祉センター。豊野が豊野福祉センター、アグリパーク豊野。三角が老人福祉センター、小田良地区営農飲雑用水施設、大田尾地区営農飲雑用水施設、三角港築港記念館、物産館、法の館、伝統工芸館、フィッツシャーマンズワフ、こういうのが対象になる。
問 福祉というのは利益が生じるものではない。健康・福祉に直接関わる施設の指定管理者に対する取り組みは。

市長 施設の実態に沿う形の取り入れを考えている。
アスベスト問題について
問 胸膜肥厚の発生率が対象地域と比べて松橋で17倍と異常に高い。これは鉾脈の存在が影響しているのではないかと。福祉部長 鉾山自体での飛散はないと思っている。
問 露出した鉾石の問題は大丈夫なのか考えていただきたい。アスベストに関する「健康管理システム」の登録者のうち415人が死亡している。

この死亡者に対してアスベストとの関連が確認されていない。システムが有効に機能しなかったのではないかと。運用の反省点と今後の方向をどう考えているか。
助役 システムを変えてほしいとのことなので、研究してほしいと県に要望している。
問 民間にアスベストがむき出しになっている、周りの住民が不安に思っている所がある。対策をどう考えているか。
助役 国、県と協議して対応していきたい。



稲葉 茂見 議員

地産地消について

問 農産物の地産地消と言われて幾久しいが、宇城市においてどう対応していくのか。学校給食への受給率は。

市長 消費者の農産物に対する安全・安心・本物志向が高まってきており、今こそ地産地消運動を推進し、食と農と健康の原点を見つめ直すことが重要だと考えている。推進で考えられることは直売所であり、果たす役割は極めて大と感じる。一つの核になる大型の直売所が必要と思う。国道3号沿いにつくり、出荷組合のメンバーに活用・自己責任で運営していく形で取り組んでいきたいと考えている。
教育部長 学校給食について

では、小川・豊野では米は地元産を購入している。地産地消を考える上で、給食センター側から地元の活性化へつなげるよう、より多くの食材を購入していきたいと思う。
経済部長 地場産品を学校給食に活用し、子供達も、旬、新鮮、安全、愛情を認識し、地元農産物に愛着を抱き利用する大人へ成長することが期待される。給食の材料品目、数量等、その需要量等を教育部局等と協議しながら連携を図りたい。



地元のお米は美味しいよ(豊野小学校)

防犯灯の維持管理費の補助について

問 防犯灯の維持管理で、行政区が設置している分の補助廃止についても一度検討を。
総務企画部長 合併協議会において、行政区が設置した防犯灯は行政区で負担、設置事業補助については、2分の1補助となっている。現在、市が引き継いだ防犯灯で、旧町の不均衡が生じており、統一的な基準表をつくる必要があると考えている。



大嶋 秀敏 議員

宇城市の物産館建設について

問 宇城市で平成19年度に計画されている物産館の建設場所、規模、それと建設の時期について、市長の考

えをお聞きたい。
市長 物産館の建設については、ファーマーズマーケットとしての条件整備がなされれば、行政・JA・生産者一体となり実現に向けて努力したい。場所、面積、内容等は決まっていない。今後あらゆる角度から検討と、先進地の調査を行いながら慎重に進めてまいりたい。道の駅として平成19年度に建設を予定している。

アグリパーク豊野について
問 アグリパークの青空市場は、天井が低く、夏場は室内の温度が上がって、惣菜は食の安全・安心の面から大変心配している。天井の高いクローラーの入った青空市場にぜひ建替えてもらいたい。そこで、アグリパーク豊野の代表取締役である市長の考えをお聞きたい。
市長 青空市場は、建築から13年を経過し展示販売の内容からして対応できない

部分があるかと思う。衛生面においても冷凍物とか生ものに対しては、今の施設では、大変問題がある。その点も勘案に入れて、建替え、もしくは改築が必要ではないかと考えている。
農家の所得向上について
問 ここ3年余り、牛肉やシウガを除いた農産物において、農家の所得が大変下がっているが、行政として農家所得の向上にどのような対応を考えているか。

市長 農業事情については、大変厳しい環境にあると思う。所得の減少は、就農者の高齢化・後継者不足・農家数の減少も考えられ、特に昨年は台風被害による米の収入が減少した。そこで、中山間地においては、高齢者の方々でも栽培できるアスパラ、キノコ栽培が確立できればと思う。干し柿はブランド化できればと狙っている。今後、努力したいと思う。



豊田 紀代美 議員

宇城市行政・財政・意識の三大改革と自立への挑戦について

問 福島県矢祭町は徹底したコスト削減と住民サービスを3倍に向上させ、郷土愛、

自立への熱い熱意と勇気と努力で三大改革をやつてのけた。宇城市三大改革を推進されている市長の考えを問う。
市長 実際、矢祭町に私も勉強にまいりたい。前例踏襲から考えを転換し、行財政運営・企業の経営理念・手法を可能な限り行政に生かし、官民一体となつて総力戦で臨みたい。
問 5年間で120人の職員定数削減を明言されたが、勧奨制度はあるのか。また財源措置について問う。
市長 新たな勧奨制度・割

増奨励金導入、早期退職者への手当制度の確立を考えている。合併特例債の活用また退職組合制度に、現システムの中で勧奨制度導入できないか要請しているが、最悪の場合は脱退してでもやろうと思う。
問 自治基本条例の制定を今後検討される気持ちはあるか。
市長 制定に向けて検討してまいりたい。
アスベスト問題について
問 市が管理している施設



松村祥史参議院議員と旧松橋町のアスベスト採掘跡地と工場跡地視察

等が必要な施設の工事は補正予算で対応したい。
問 全国に先駆けた総合健康管理システムの構築のための国県への財政支援と、市民の不安解消の具体策について。
市長 胸膜肥厚と中皮腫、肺ガン等の因果関係、精密検査者の暦年検査料の無料化、財政支援措置、胸膜肥厚登録者の健康管理システムの体制及び全国どこでも検診が無料で受けられる体制整備を県に要望している。国・市共々一体となつて取り組んでいく。